

第1号様式(第5条関係)

令和7年度 指定管理者年度総合評価表

作成年月日	令和8年7月31日
-------	-----------

1 指定管理者概要

施設名	別海町営畜牛育成牧場	
所在地	別海町中西別108番地の2	
施設概要	(1)敷地面積 1,080ha (2)放牧地面積 927.9ha (3)施設 牛舎1棟、D型牛舎1棟、DH型牛舎2棟、堆肥舎1棟、堆肥場1ヶ所、作業場1棟、車庫1棟、管理棟兼住宅1棟、職員住宅2棟	
指定管理者	名称	道東あさひ農業協同組合
	代表者	代表理事組合長 浦山 宏一
	所在地	野付郡別海町別海緑町116番地の9
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日	
指定管理者の業務	(1)家畜の飼養管理、授精等に関する業務 (2)草地の維持管理及び飼料収穫調整に関する業務 (3)施設及び設備の維持管理に関する業務 (4)施設等の利用承認に関する業務 (5)利用料金の徴収に関する業務 (6)前各号に掲げるほか施設の管理のため必要な業務	
町の所管課	産業振興部農政課	
	電話	0153-74-9251
	E-mail	nousei@betsukai.jp

2 指定管理者による自己評価

評価	夏季放牧の延べ頭数は計画比7,849頭減の127,166頭、冬季は計画比9,350頭増の67,798頭となりました。期間中、大きな事故はなく、放牧地やパドックの環境整備を適切に実施しました。 粗飼料確保については、1番草収穫中のトラクターおよびコンビラップの火災により作業遅延が生じましたが、直ちに代替機械を導入し、9月末までに2番草を適期収穫いたしました。 また、各JA、家畜保健衛生所、NOSAI等の関係機関と密に連携・情報共有を図り、預託牛および放牧地の適切な管理に努めております。
今後について	今後は、事業の持続可能性と安定的な運営を維持するため、若手人材の確保をはじめとする組織体制の強化や、効率的な管理手法の導入を推進してまいります。これらの方針策定や運営上の重要事項につきましては、産業振興部農政課と密に連携し、持続可能な運営体制の構築に努めてまいります所存です。

3 町(所管課)の総合評価

評価	・施設や設備の維持管理に努め、草地更新やパドック整備を計画的に行うなど預託牛の良好な受入環境の向上に努めている。農業機械等の火災により一部作業の遅れが生じたものの、適切な対応により影響を最小限に抑え、計画的な牧場管理の維持に努めたことは評価できる。 ・家畜保健衛生所や農業共済組合等の関係機関と連携を図りながら、防疫管理に努めている。今後も利用者が安心して預託できる牧場管理を継続するよう期待する。
指摘事項	特になし

4 管理運営状況に係る個別評価

評価欄への記入内容 ◎： 町が示した条件や内容を上回る水準で管理運営されていた ○： 町が示した条件や内容が概ね達成されていた ×： 町が示した条件や内容が達成されていなかった 特記事項への記入内容 特記事項への記入内容は、評価が◎又は×となった項目についてのみ記載

(1)管理・運営状況

指標	評価	特記事項
開館日、開館時間の状況	○	
法令の遵守の状況	○	
適正な人員配置状況	○	
従業員の労務環境確保の状況	○	
障がい者の雇用状況(該当がある場合)	—	障害者の雇用条件なしのため対象外
従業員への教育・研修状況	○	
緊急事態への対応状況	○	
書類等の管理保存状況	○	
報告書の提出状況	○	
利用料金の取扱状況(該当ある場合)	○	
利用料金の減免状況(該当ある場合)	—	該当なし
口座管理、経理の区分状況	○	
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償状況	—	事例なし
付保する保険(保険加入を指定している場合)の状況	—	保険加入指定なしのため対象外
重要事項の変更の届出状況	○	
施設の使用許可及び使用条件等の状況	○	
施設、設備の保守管理状況	○	
備品の管理状況	○	
清掃業務、保安業務、その他必要な衛生管理業務等の状況	○	

自主事業の状況(選定時に提案があった場合のみ必須)	—	自主事業なしのため対象外
環境への配慮(町から事前に条件を示している場合のみ必須)	○	
苦情・要望等の受入体制確保の状況	○	
苦情・要望等への対応状況	○	

5 他の事業評価実施状況

(1)セルフモニタリング

自主点検状況	定期的預託牧場会議にて、入牧時や下牧牛に対する意見等を踏まえた改善協議の実施。また、脱柵や施設状態の確認と維持改修を行った。さらに、家保やNOSAI獣医師の助言の元、野草による毒等症状の異常チェックを行った。
--------	--

(2)定期モニタリング

定期報告状況	毎月の管理・利用状況報告及び収支管理状況を適切に報告されている。
--------	----------------------------------

(3)随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	5回	4月10日	農政課	全体的管理に関する協議
		4月22日	農政課	入牧会議
		8月28日	農政課	全体的管理に関する協議
		6月～10月	農政課	全体的管理に関する協議
		1月31日	農政課	バイコール等駆虫時預託牛健康チェック
	実施結果			
	各会議や打合せ業務時で情報共有と適正管理が図られた。			

(4)その他の状況

指定管理業務に関する財務状況 (計画と実績の状況)	業務部門収入は、実頭数が4頭、延べ頭数が1,501頭、これにより収益は計画比で1,611千円の増収となりました。支出面では、トラクターおよびコンビラップの火災に伴う損失が発生しました。内訳は、焼失した機械の残価に係る損害賠償金として4,243千円、代替機械導入(リース料)として2,547千円、焼失により外部委託を行った1番草の作業費として1,604千円など、計約10,000千円の事業費用が増加しました。その結果、事業費用は計画比で9,903千円の超過となり、事業総利益は計画比8,292千円減の29,749千円となりました。これにJA共通管理費および事業外・特別分の共通配賦額を差し引いた結果、当期の純利益は9,350千円の赤字(実績)となりました。
その他の取組状況 (運営に関する工夫)	短期雇用などで繁忙期の対応をしている。